



郵政産業 ユニオン

発行所 〒170-0012 東京都豊島区上池袋2-34-2
TEL 03(5974)0816 FAX 03(5974)0861
http://www.piwu.org mail@piwu.org
発行責任者 廣岡 元穂

〈購読料〉1部250円(送料共) 年間2500円
郵便振替口座 00120-5-120809
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

郵政「何でも相談」を開設

イジメ・パワハラ・雇止めご相談を

労働条件引き下げはNO

全国の支店や局では慢性的な人員不足が続き、労働環境が悪化の一途をたどっているなか、10月1日の郵便事業会社と郵便局会社の統合による新会社設立を前に、コールセンターの統合をはじめ、郵便内務・間接事務の統括支店への統合が計画されている。これにより、業務の中心で頑張ってきた期間雇用社員に対して雇止めや配置換え、労働時間の削減など労働条件の悪化が強いられようとしている。郵政産業ユニオンは、9月1・2日の2日間、郵政「なんでも労働相談」を開設し、不当な労働条件切り下げを許さないといくみを強める。

期間雇用社員は調整弁

65歳雇止めが昨年9月末に強行され、全国で約14000人にも上るベテラン社員が解雇されました。しかし、会社は後補充をせず、全国の支店や局は慢性的な要員不足に苦しめられています。この記録的な猛暑のなかでも退職者の後補充がなおざりにされ、連続超勤が強いられる支店も少なくありません。また、要員不足が続くと、業務目標値が高くなり、営業目標値が下がるベテラン社員が「インナー販売」と称して「自爆営業」が広がっています。高い目標値は、内務や外務、また外務でも受箱・対面の配達の違いにかかわらず設定されています。ある支店では、課長が期間雇用社員を呼びつけ、イベント商品を指さしながら「これこれ！」と半ば「自爆営業」を強要しているといった相談もすでに寄せられています。

「ビジョン・2」が大もとに

郵便事業会社は、3月に「郵便再生に向けて」ビジョン・2を発表し、24年度には①ネットワーク再編の試行②各種IT化による業務の効率化③間接事務の集約④支店別・顧客別損益の導入⑤班別収支の試行などに着手し、

深刻な相談よせられる

この間、中央本部には、「乗換募集」が強く要されている。コンプライアンス違反ではないのか「うつ病が発症しているが、異動希望を申し出ても課長に拒否されている」「職場でのパワハラに悩んでいる。配置換えの希望を出しているが、課長に断られた」「パワハラで休むことになったが、これからどうしたらいいのかわからない」

目標の設定と支店別損益を評価対象とすることが掲げられ、支店、支店、班と運動しながらコスト管理と削減が求められることにより労働環境の悪化に拍車がかけてられています。また、支店損益

告示

郵政産業労働者ユニオン女性部規約に基づき、第1回女性部大会を次のとおり開催します。

記

1	日時	9月16日(日) 午後1時～ 9月17日(月) 午後12時
2	場所	郵政産業ユニオン中央本部 会議室
3	議題	①2012年度運動方針(案)について ②その他

2012年7月1日
郵政産業労働者ユニオン女性部長 皆内マサ子

ポスト

「一緒に働いている人が目の前で倒れたとき何も出来なかつた」から社会保険

「救命・二次救命のトレーニングを受けるのはアメリカが受けるのはアメリカ心臓協会が提唱する方イドラインに添った処置。一次救命のデキストは前回のガイドラインと比べ総ページ数が三分の一と薄く、シンプルでより効果的な手順になった。胸骨圧迫が隣人を死の淵から救い、治療後に残る障害を減らす。あなたの職場でも必要なシーンがあるかも知れない。しかし、救命の前に予防だ。夜勤が循環器系に負担をかけている。時間や回数、業務の軽減は組合で要求しているが、なかなか解決しない。今すぐ出来る現実的な対策は・・・やっぱ禁煙ですよ。」

「ひとりでも悩まず気軽に」JP労組が会社と一体で「生産性向上運動」を推進するなか、正規・非正規を問わず社員は、職場で相談する拠り所を失っています。私たちは、一人ひとりが大切にされる職場をめぐらして今回、2日間に集中した労働相談日を設定しました。職場の悩み事など気軽に相談して下さい。